「境港沖防波堤壁画お披露目会」を開催しました！

令和4年10月11日(火)に余子小学校5年生42名の描いた「境港」と「海」をテーマとした作品の壁画お披露目会を開催しました。お披露目会では、境港湾・空港整備事務所の所有する港湾業務艇“はくしゅう”に乗船し実際に防波堤に貼り付けた児童の絵を見に行きました！また、港湾についての関心を深めてもらうため境夢みなとターミナルにて出前講座や(株)井木組の協力による防波堤のドローン映像の鑑賞、ミニサイズのケーソンを用いた模型実験、境夢みなとターミナルの協力によるターミナル施設見学を行いました。
当日はテレビ等5社の取材も入り、児童は少し緊張している様子でした。

“はくしゅう”に乗船し、壁画と📷

出前講座の様子

境夢みなとターミナルのデッキで
船に手を振っている様子

模型実験の様子

模型実験では、密度や形状を変えたボール、粘土を水中に入れ、浮力について考えてみました。児童は、コンクリートの塊であるケーソン(ミニサイズ)が水に浮くのを見てとても不思議そうな様子でした。“はくしゅう”に乗船すると多くの児童が防波堤に貼り付けられた絵の中から自分の絵を探していました！下船時にはもう一周乗りたかったなどの声が聞こえました。今回の経験が港に関心を持つきっかけになればと思います。

防波堤への作品貼付状況

境港沖防波堤とは

全長3850mからなる日本海側で2番目に長い防波堤です。港内の静穏度を高めるため昭和43年から整備を進め、今年、最後のケーソンの据付を行い、完成を迎えました。

ターミナルでの作品展示状況

山陰のゆるキャラも見てくれました！

防波堤に貼り付けた作品の原画は令和4年10月3日～11日にかけて境夢みなとタワーに、令和4年10月16日にクルーズ船（飛鳥Ⅱ）の寄港に合わせて境夢みなとターミナルに展示を行いました。地域の皆様やクルーズで境港へお越しの多くの方々に作品を楽しんでいただくことが出来ました。